

宗像町立

中央中学校竣工祭

遷移の十月二十二日午前十一時、許斐山を背に久原の白地、東町二丁目と南橋筋の中間に...



特記したいことは、竣工祭を町当局が神社に依頼し、神職が祭典に奉仕したことである...

宗像町の役場として相応しい風格を備えて、元地方事務所も併設する。元地方事務所も併設する...

宗像町の巻 地域感の除去に努められた甲斐あつた。今では殆んどその影を...

宗像町市計画 宗像町会館に認可(三六六)とされ、次期計画の編成準備中である...

宗像町市計画 宗像町会館に認可(三六六)とされ、次期計画の編成準備中である...

宗像町市計画 宗像町会館に認可(三六六)とされ、次期計画の編成準備中である...

宗像町市計画 宗像町会館に認可(三六六)とされ、次期計画の編成準備中である...

宇部市交通局で神社を建立

宗像神社奉鎮祭

十月二十九日、山口県宇部市連雨かつ盛大に奉鎮した。輪流では宗像神社奉鎮祭が行われた...

宗像神社奉鎮祭 宗像神社奉鎮祭は、宇部市交通局で建立された。奉鎮祭は、十月二十九日、山口県宇部市連雨かつ盛大に奉鎮した...

宗像神社奉鎮祭 宗像神社奉鎮祭は、宇部市交通局で建立された。奉鎮祭は、十月二十九日、山口県宇部市連雨かつ盛大に奉鎮した...

宗像神社奉鎮祭 宗像神社奉鎮祭は、宇部市交通局で建立された。奉鎮祭は、十月二十九日、山口県宇部市連雨かつ盛大に奉鎮した...

宗像神社奉鎮祭 宗像神社奉鎮祭は、宇部市交通局で建立された。奉鎮祭は、十月二十九日、山口県宇部市連雨かつ盛大に奉鎮した...

宗像神社奉鎮祭 宗像神社奉鎮祭は、宇部市交通局で建立された。奉鎮祭は、十月二十九日、山口県宇部市連雨かつ盛大に奉鎮した...

宗像神社奉鎮祭 宗像神社奉鎮祭は、宇部市交通局で建立された。奉鎮祭は、十月二十九日、山口県宇部市連雨かつ盛大に奉鎮した...

走破記念参拝

水戸の中村北翠氏

水戸市西原町住む中村北翠氏。中村北翠氏(38才)が此の参拝を兼ねて日本一周をされた...

水戸市西原町住む中村北翠氏。中村北翠氏(38才)が此の参拝を兼ねて日本一周をされた...

水戸市西原町住む中村北翠氏。中村北翠氏(38才)が此の参拝を兼ねて日本一周をされた...

水戸市西原町住む中村北翠氏。中村北翠氏(38才)が此の参拝を兼ねて日本一周をされた...

水戸市西原町住む中村北翠氏。中村北翠氏(38才)が此の参拝を兼ねて日本一周をされた...

水戸市西原町住む中村北翠氏。中村北翠氏(38才)が此の参拝を兼ねて日本一周をされた...

消息

宗像町の消息 宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息...

宗像町の消息 宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息...

宗像町の消息 宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息...

宗像町の消息 宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息...

宗像町の消息 宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息...

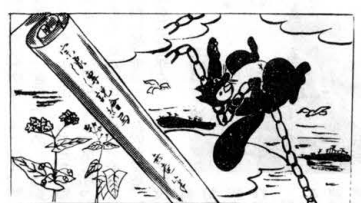
宗像町の消息 宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息...

宗像町の消息 宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息...

宗像町の消息 宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息、宗像町の消息...

蕎麦の茎は赤い

宗像と遷の境界にある地蔵と、ところが化物を登って来ます。この程近く、草履の谷間の里に可愛...



町村往來

町鎮魂祭白石太助に感謝状と記念品を贈る。白石氏は10月28日朝、奈良県橿原市北西二...

町鎮魂祭白石太助に感謝状と記念品を贈る。白石氏は10月28日朝、奈良県橿原市北西二...

新築完成

玄海の味・生魚料理 宗像郡玄海町神湊 電話 神湊 五六番

玄海の味・生魚料理 宗像郡玄海町神湊 電話 神湊 五六番

宗像大社献詠

宗像大社 藤原とく美
 宗像大社 藤原とく美
 寒風吹かぬ海に其夜ぐ
 津屋崎 勝田 光一

野は枯け人瘦す行橋
 人吉市 久羽 博史

さび船の群れに雲影落ちて過ぐ
 津屋崎 池田 しげを

ちろ鳴く路地の暗さを海に映く
 大島村 板矢久仁子

宗像大社はべた里車
 大井 安部 重郎

足早雲の徂徠と稲穂ぶ
 津屋崎 占部 河童

便鐘と落ちた大群衆の浄え
 津屋崎 香立喜一郎

冬色色鉛筆店のガラスのドア
 八幡市 柳田 新

塩こぼし夜後の街を自転車来る
 津屋崎 安部真佐子

夜枯ほそる手糸よがる満月に
 東郷 藤崎 辰子

残菊も王者の夢を浮きかへり
 津屋崎 久羽 文王

昂然と人見る菊自信ありて
 津屋崎 西住喜三郎

短月の通りに向け牡蠣落す
 津屋崎 井浦 良介

人の傘に入りて秋雨の干渴
 玄海 山口 仁道

稲穂波瀬の漣を流りしおひり
 宗像 松本 夢花

笑いつつ友はり来し秋拾
 池浦 川島 愛子

婚礼の日取りちう菊日和

宗像信仰の花身 宗像の大家 鈴木重胤大人

筑紫堂 (二)

大人は出陣に留まらず、約半年、天保十五年、弘化元年、三月秋田を去り、荘内に留ること六月、九月江戸に出て、居る日本橋村松町に居た。大人はそれから本郷を江戸に馳せ、大に学名を天下に馳せにいたった。

さて、大人信仰についてであるが大人は強烈な神道家で、神を崇め、神を信じ、神を畏れ、神を慕うという以外には信仰を執持しなかつた。神を崇めることは、彼の真摯な態度に終生不變なものであった。大人は、その神道家としての、そして、父重威の感化と、大人自身による書物の読講と、神代史の研究の結果とによるものであった。

大人は、また神官の権威に寄与して、その一年、大層に福になった。そのとき、病床に横たわっていた大人に、その神の無聊な態度のために、看護人の頼みで、『太平記』を朗読して、これを聞いて来た。その『太平記』の文章を、ことごとく暗記して、いつか、大人自身非常によく、この『太平記』を、ことごとく暗記して、いつか、大人は、大に大阪に門を開いた。

大人は、その頃、また神官の権威に寄与して、その一年、大層に福になった。そのとき、病床に横たわっていた大人に、その神の無聊な態度のために、看護人の頼みで、『太平記』を朗読して、これを聞いて来た。その『太平記』の文章を、ことごとく暗記して、いつか、大人は、大に大阪に門を開いた。

大人は、その頃、また神官の権威に寄与して、その一年、大層に福になった。そのとき、病床に横たわっていた大人に、その神の無聊な態度のために、看護人の頼みで、『太平記』を朗読して、これを聞いて来た。その『太平記』の文章を、ことごとく暗記して、いつか、大人は、大に大阪に門を開いた。

この信念を得てから、学事ますます進み、学力の日加わるを自覚するに至り、宗像三神崇拝の念は、大人の敬神思想の根柢をなすに至つたのである。

予此神社を知りて初めて詣り、六月六日。其日より妙に奇しき御恩顧を蒙り、由路(一)起るとは、朝方夕方に、日に添ひて増しに加へるに、御霊は、人とは異なり、此身は、御霊は、人とは異なり、

予此神社を知りて初めて詣り、六月六日。其日より妙に奇しき御恩顧を蒙り、由路(一)起るとは、朝方夕方に、日に添ひて増しに加へるに、御霊は、人とは異なり、

予此神社を知りて初めて詣り、六月六日。其日より妙に奇しき御恩顧を蒙り、由路(一)起るとは、朝方夕方に、日に添ひて増しに加へるに、御霊は、人とは異なり、

予此神社を知りて初めて詣り、六月六日。其日より妙に奇しき御恩顧を蒙り、由路(一)起るとは、朝方夕方に、日に添ひて増しに加へるに、御霊は、人とは異なり、

予此神社を知りて初めて詣り、六月六日。其日より妙に奇しき御恩顧を蒙り、由路(一)起るとは、朝方夕方に、日に添ひて増しに加へるに、御霊は、人とは異なり、

予此神社を知りて初めて詣り、六月六日。其日より妙に奇しき御恩顧を蒙り、由路(一)起るとは、朝方夕方に、日に添ひて増しに加へるに、御霊は、人とは異なり、

予此神社を知りて初めて詣り、六月六日。其日より妙に奇しき御恩顧を蒙り、由路(一)起るとは、朝方夕方に、日に添ひて増しに加へるに、御霊は、人とは異なり、



三美人 天野健一

歌入伯耆守は京都が外氣 込込歌入たが歌入が為に三美人の歌入に遇つては後代表者「たかたか」に、歌人はお光許してと云う。歌人はお光許してと云う。歌人はお光許してと云う。

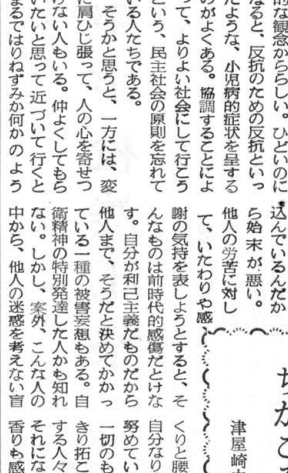
歌入伯耆守は京都が外氣 込込歌入たが歌入が為に三美人の歌入に遇つては後代表者「たかたか」に、歌人はお光許してと云う。歌人はお光許してと云う。歌人はお光許してと云う。

日章丸遷霊鎮座祭の記

去る十月七日、佐世保保衛艦と。案内して下さった出光君。出光君は佐世保重工から出航準備中世界最大のシカーカ、カハの門田重光さん御自直で出航された。S.S.Kの船長S.Iの指揮に任せられた。

出航準備中世界最大のシカーカ、カハの門田重光さん御自直で出航された。S.S.Kの船長S.Iの指揮に任せられた。出航準備中世界最大のシカーカ、カハの門田重光さん御自直で出航された。S.S.Kの船長S.Iの指揮に任せられた。

出航準備中世界最大のシカーカ、カハの門田重光さん御自直で出航された。S.S.Kの船長S.Iの指揮に任せられた。出航準備中世界最大のシカーカ、カハの門田重光さん御自直で出航された。S.S.Kの船長S.Iの指揮に任せられた。



予此神社を知りて初めて詣り、六月六日。其日より妙に奇しき御恩顧を蒙り、由路(一)起るとは、朝方夕方に、日に添ひて増しに加へるに、御霊は、人とは異なり、

ちかごろおもうこと

津屋崎中学校教諭 畑 一実

予此神社を知りて初めて詣り、六月六日。其日より妙に奇しき御恩顧を蒙り、由路(一)起るとは、朝方夕方に、日に添ひて増しに加へるに、御霊は、人とは異なり、